

国語解答用紙

1	文壇	2	難航	3	戯曲	4	快
---	----	---	----	---	----	---	---

自身に投票すること、日記現代小説選集の作家に選ばれる可能性のある人気の落ちかけた作家の心境。

鑑兎がその武者の勇猛さをあずるものであって、うんを身につけている人物の心とは関係がないということ。

置かれた立場、状況などの形式的側面が、その人の内面性そのものを作り出すということ。

権威、権力を行使せず、相手の自由意志を尊重すると見せつけ、望み通りの結果を得ようとする、システムを思いついた者のいやさ。

採点欄 一

問一 問二 問三 問四 問五

採点欄 二

日記に描かれている、その時々状況に応じて自分に都合がいいように作られた内面を見せている自分が、今それを読み返している自分と同じ自分であると客観視せざるを得なくするということ、言いよりのない戸惑い、羞恥、嫌悪を感じることになるから。

採点欄 三

ある人と約束していたこと、かあり、その人のおとに行きりと家を出た時にへ出たとこし
朝ぼらけの残月が興趣深い上に、北へ帰る雁の鳴き声が、その雲間に幽妙にとけ合っている状況。
やはり有明月に雁という景色よりも、有明月の下に満開の桜を配した方がより趣き深いとする見解。
桜の花の赤み節は花に気をとられ、筆者の述べたよりな趣きを感じるともやと、か、ないということ。

採点欄 四

1. しばしば
2. と
きくしする(こと)あたはず

賊を討つところか、賊に簡単に殺されてしまう。

袁雄のとりなりによって、名家を若くても優れた人物だと判断したから。

受験番号					
1	2	3	4	5	6

コード	四	三	二	一	得点				
1	0								
7	8	11	12	14	15	17	18	20	21